

令和6年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：大阪府立中河内救命救急センター

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
(1) センターの設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営が行われているか 【主な指標】 病床30床のフル稼働の継続（計画:30床） ----- ②管理運営方針に沿った管理が行われているか 【主な指標】 救急受診患者数（計画:1,100人以上） 【参考】 管理運営方針（事業計画書） 救急患者に対し救命医療を行い、府民の生命及び健康の保持に資することを設置目的としており、施設の安全で効果的かつ効率的な管理運営を図るとともに、24時間365日救急医療体制を確保し、関係機関との連携強化や災害医療への取組等により設置目的を達成することを基本方針とする。 ----- ③市立東大阪医療センターとの連携強化に取り組んでいるか 【主な指標】 医療・連携部会の毎月開催 東大阪医療センターへ転院した入院患者数（計画:39人以上） 東大阪医療センターから受け入れた入院患者数（計画:7人以上） 東大阪医療センターからの手術等応援件数（計画:28件以上）	計画どおりではないが、ほぼ良好な実施状況である。 受診患者数が減少しているものの東大阪医療センターとの連携が図られている。 救急受入患者数、東大阪医療センターからの受入患者については連携強化を図るなど増加に努められたい。	救急受診患者数の増加に向けた方策について指定管理者と協議する。	市立東大阪医療センターや消防機関との連携強化を図り、救急受診患者数増加への取り組みを推進する。
(2) すべての重篤な救急患者の受入れ体制	①重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を24時間受け入れることのできる体制になっているか 【主な指標】 重篤患者の受入数（計画:722人以上） 中河内圏域における重篤患者の受入割合（計画:13.5%程度） 市立東大阪医療センターへの患者転院割合（計画:12%以上） 応需率（計画:85.0%以上）	計画どおりではないが、ほぼ良好な実施状況である。 応需率は依頼件数など外部要因によって変わるため、指標としては参考としつつも、受診患者の「数」を意識して取り組まれたい。	引き続き重篤患者の受入れがなされるよう指定管理者と協議する。	消防機関等からの救急患者の応需増加に向けた取り組みを推進する。
(3) 中河内二次医療圏におけるメディカルコントロール体制の中心的役割を担うための具体的手法及び期待される効果	①メディカルコントロール体制の中心的役割を担っているか 【主な指標】 所長の中河内メディカルコントロール協議会会長就任 毎月実施される検証会議への出席 ②初期・二次救急医療機関との連携を図るとともに、相互の医療の質的向上に取り組んでいるか	計画どおりではないが、ほぼ良好な実施状況である。 地域の医療機関との連携体制構築により紹介患者の確保に努められたい。	二次救急医療機関等からの患者紹介数の増加に向けた方策について指定管理者と協議する。	二次救急医療機関等との連携を強化し、紹介患者数増加への取り組みを推進する。

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
	【主な指標】 救命処置講習等への講師派遣実績（計画：37 件程度） 二次救急医療機関等からの患者紹介数（計画：121 人以上） ----- ③地域の消防機関との連携がとれているか 【主な指標】 救急隊員セミナー等の毎月開催			
(4) 救命救急医療機能の向上を図るための具体的手法及び期待される効果	④転院先の確保に努めているか（※転院先の円滑な確保等による入院日数の縮減） 【主な指標】 平均在院日数（計画：11 日以下） ----- ⑤医療従事者の技術向上に努めているか 【主な指標】 学会等への参加状況（計画：46 人程度） 臨床研修医の受入状況（計画：37 人以上） 職種別の研修実施状況 ----- ⑥災害発生時に災害拠点病院として中心的役割を果たすことができる体制になっているか 【主な指標】 DMAT 隊員の確保（計画：46 人維持） DMAT 等訓練への参加状況（計画：37 件程度）	計画を上回る優良な実施状況である。 平均在院日数は収支にもかかわってくるものであるため、適正なベッドコントロールに努められたい。	適正なベッドコントロールの方策について指定管理者と協議する。	ベッドコントロールの最適化に向けた取り組みを推進する。
(5) 施設の安全管理及び効率的な維持管理	①施設管理、安全管理は適正か 【主な指標】 施設等の修繕実績 法定点検等の実施状況 ----- ②維持管理は効率的に行われているか 【主な指標】 維持管理経費削減のための具体的な取り組み	計画どおりの良好な実施状況である。	引き続き適正な安全管理等を行う。	引き続き適正な安全管理等を行う。
(6) センターの効率的・効果的な管理運営に係る内容	①収入の確保及び支出の抑制に努めているか 【主な指標】 〈収入〉 新入院患者（計画：810 人以上） 充床率（計画：80. 0%以上） 入院収益単価（計画：110, 000 円以上） 〈支出〉 材料費率（計画：33. 0%以下） 給与費比率（計画：111. 5%以下）	改善を要する実施状況である。 特に充床率については改善が必要。	新入院患者数の増加、充床率の向上に向けた方策について指定管理者と協議する。	収益改善に向け、充床率向上と新入院患者数増加に向けた取り組みを推進する。

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
	委託料（計画：243,782 千円以内） ※充床率：実際に使用された病床／30 床（平均値） ※材料比率：材料費／医業収益（利用料金収入） ※給与費比率：給与費／医業収益（利用料金収入）			
(7) 収支計画の内容及び適格性	①事業収支は計画に比して妥当か 【主な指標】 総支出（計画：1,954,019 千円以下に抑制） 利用料金収入（計画：1,054,187 千円以上の確保） 収入とバランスの取れた支出抑制 収支差額（899,832 千円以内）	改善を要する実施状況である。 新入院患者は増やしていく必要がある。 レセプトの査定率について課題と対応を整理して、収益向上につながるよう努められたい。	利用料金収入の中心となる新入院患者数の増加に向けた方策について指定管理者と協議する。また、レセプトの査定率について、収益向上につながる方策を指定管理者と協議する。	収益改善に向け、新入院患者数増加やレセプト査定率の課題整理に向けた取り組みを推進する。
(8) 安定的な管理運営が可能となる人的能力	①職員確保の方策は妥当か ②職員の労働環境の整備に努めているか ③コンプライアンス（法令遵守）の強化に努めているか。	計画どおりの良好な実施状況である。 時間外労働については、年 960 時間（月 80 時間）に収まればよいということではなく、時間外労働が増えればミスが起こる可能性も高くなる。 今後の患者数増や、急遽の退職など様々な事態を想定して、引き続き医師・看護師の確保に努められたい。	引き続き医師・看護師の確保に努めていただくよう要請する。	引き続き医師・看護師の確保に努める。
(9) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人の経営状況及び業務運営体制は安定的であるか	計画どおりの良好な実施状況である。	引き続き安定的な運営が可能となる財政的基盤を確保いただくよう要請する。	引き続き安定的な運営が可能となる財政的基盤を確保する。
(10) 府施策との整合	①府・公益事業協力等 ②障がい者等の実雇用率 ③府民・NPO 法人との協働 ④センターでの環境問題への取組の実施	計画どおりの良好な実施状況である。	引き続き府施策と整合する運営を行うよう要請する。	引き続き府施策と整合する運営を行う。